

子どもの姿を語り合うのは、やっぱり楽しい！！

令和5年度の架け橋期カリキュラムワーキング会議を開催しました。

昨年度、津市架け橋期カリキュラム（案）の作成に取り組んだ「津市架け橋期カリキュラム検討ワーキング会議」のメンバーとして御活躍いただいた先生方にお集まりいただき、今年度の津市架け橋プログラムの取組についてお伝えしました。

また、昨年度、グループワーキングに参加していただいた後の、それぞれの実践等について交流し、子どもの姿を語り合いました。

久しぶりに再会したワーキングメンバーとの語り合いは、とても楽しそうで、和やかな時間となりました。

津市架け橋プログラムを進める中で、最も大切にしたいこと、

それは、**子どもたちに関わる者同士が、子どもたちの姿やそれぞれの実践を楽しく語り合うこと、そして「また、話したいな」と思えること。**そんな取組が、それぞれの小学校区で展開されていてほしいと願っています。



<ワーキングメンバーさんの感想>

- 子どもたちが、幼稚園・保育所・こども園でどんな活動をしてきたのか、もっと、もっと知りたくなりました。
- 小学校のイメージが、ぐっと身近になったように思います。
- 保幼小の交流会でも、子どもの姿を伝えるだけでなく、子どもたちが頑張っている活動の過程を知らせたいという意識を持つようになりました。
- 一つの活動をいろいろな視点で見えていくと、様々な経験や学びにつながっていると感じました。学校でいう教科等の横断的な学びと似ていると思いました。



ワーキングメンバーのみなさんの取組が、特化研究プロジェクトのモデル小学校区の取組のモデルとなっています。グループディスカッションの時間を大切に、写真、学級だより、子どもの作品等を持ち寄って実践を語り合しましょう。